



箱を開けてから装置が使えるようになるまでの手順を説明します。
このスタートアップガイドに従って作業してください。

⚠ 安全に関するご注意

装置をセットアップする前に
「ユーザズガイド」の

「安全にかかわる表示について」
「使用上のご注意」
—必ずお読みください—

をお読みの上、注意事項を守って
正しくセットアップしてください。

警告

- めれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電するおそれがあります。
- 雷が鳴り出したらケーブル類を含め装置に触らないでください。
落雷による感電のおそれがあります。
- ご自分で本体装置の分解・修理・改造を行わないでください。

注意

- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、アース付のコンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

「ステップ1」

添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品がそろっていることを確認してください。

- 本体×1
- ソフトウェアパッケージ×1*- スタートアップガイド(本書)×1
- 使用上のご注意×1
- 電源コード×1
- 保証書×1*2
- エアダクト×1
- ゴム足×4
- MO用ブラנקパネル×1*3
- ネジセット(502)×1*4
- ネジセット(503)×1*3
- お客様登録申込書(ご案内)×1



- 上記添付品は、本体のみのものです。BTO(工場組み込み出荷)製品などは「組み込み製品・添付品リスト」をご確認ください。
- 添付のCD-ROMやDVD-ROMは、再セットアップの時に必要となりますので大切に保管しておいてください。

*1 ソフトウェアパッケージの内容については、ソフトウェアパッケージ内の構成品表を参照してください。

*2 梱包箱に貼り付けられています。

*3 内臓MOを搭載した装置構成では本体に実装済みです。

*4 内臓バックアップデバイスを搭載した装置構成では本体に実装済みです。

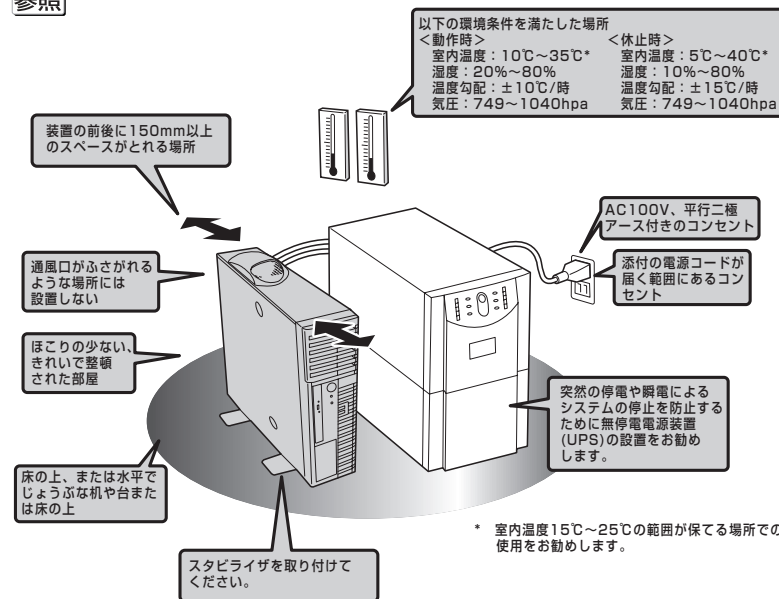
ステップ2

適切な場所に設置する

本体の設置場所を決めます。

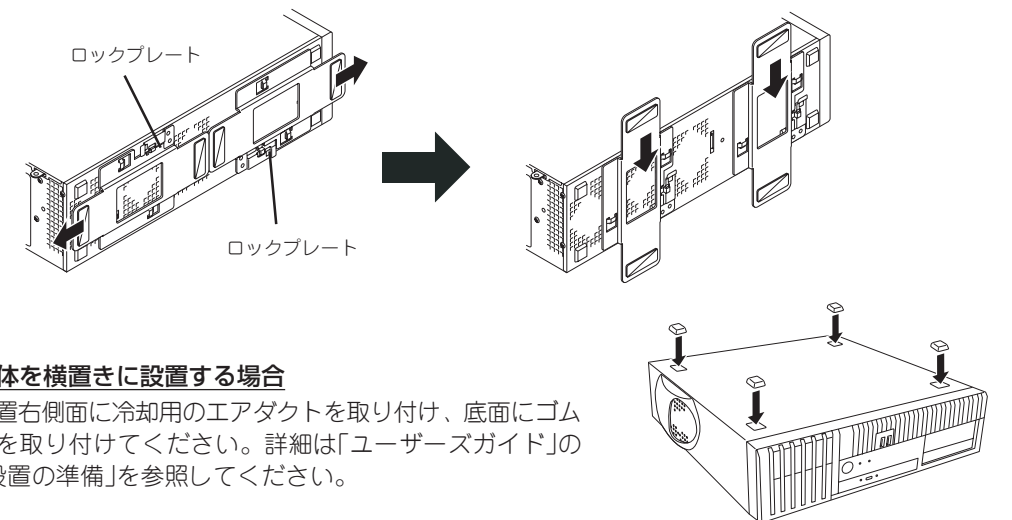


「ユーザズガイド」の第2章「セットアップ」を参照してください。



本体を縦置きに設置する場合

装置上面に冷却用のエアダクトを取り付け、ロックプレートを浮かせてスタビライザをいったん取り外し、図のように取り付け直してください。詳細は「ユーザーズガイド」の「設置の準備」を参照してください。



本体を横置きに設置する場合

装置右側面に冷却用のエアダクトを取り付け、底面にゴム足を取り付けてください。詳細は「ユーザズガイド」の「設置の準備」を参照してください。

ステップ3

ケーブルを接続する

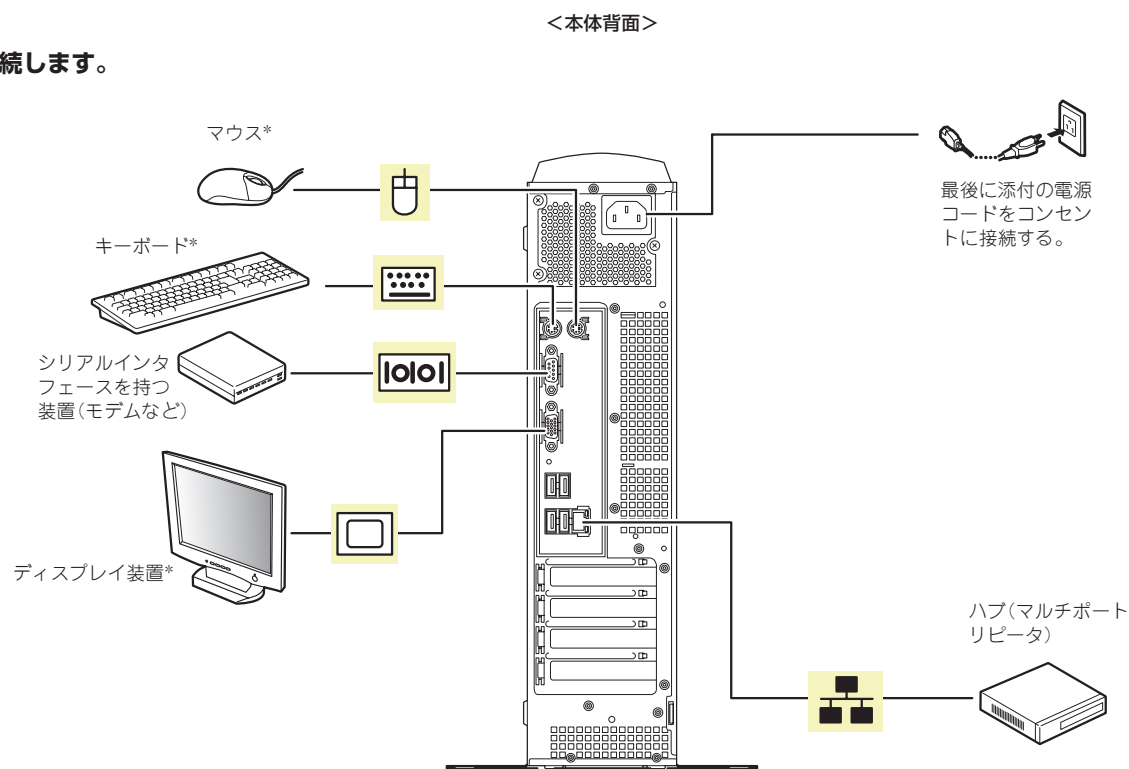
ケーブルを本体背面にあるコネクタに接続します。



「ユーザズガイド」の第2章「セットアップ」を参照してください。



- 本装置に接続するケーブルは、LANケーブルと添付の電源コードのみです。その他のケーブルを接続する必要はありません。また、複数のケーブルを接続するときは、まずLANポート1のみに接続して初期設定を行い、設定完了後に残りのコネクタに接続してください。
- 本装置への各種オプションの取り付け・取り外しは、本書で示すセットアップが完了した後に行ってください。



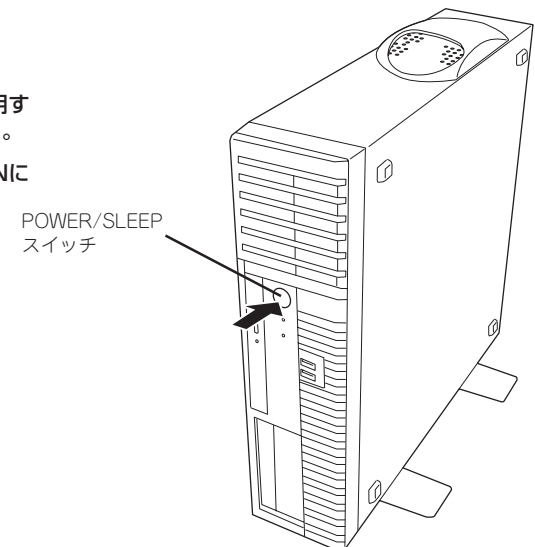
* 本装置の保守をするときにのみ接続する

ステップ4

電源をONにする

電源をONにします。

- 1 本体のLANポートコネクタとネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。
- 2 POWER/SLEEPスイッチを押して、システムの電源をONにする。



以上で設置作業は完了です。

[illegible]

▶▶▶▶▶ 表面からの続きです。

ステップ5

初期設定をする

管理PCで初期設定ツールを使用し、本装置の初期設定を行います。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にある管理PC (Windows 2000+IE6.0/Windows Server 2003/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows XP/Windows Vista/Windows 7)と添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを使用します。

初期設定に必要な情報として、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「コンピュータ名」、「管理者パスワード」を事前に決定してください。

* IPアドレスとサブネットマスクは、初期設定およびリモートデスクトップ接続を行う管理PC(Windowsマシン)と同じネットワークアドレスになるよう設定してください。

* 管理PCでファイアウォールが有効になっていると、初期設定が正しく行えない場合があります。初期設定ツールで使用するポートをファイアウォールの例外に設定してください。設定方法については、初期設定ツールのヘルプの "検索" タブで「Windows ファイアウォール設定手順書」を検索してください。

* 管理PCがWindows2000の場合は、事前にリモートデスクトップのインストールを行ってください。リモートデスクトップは、Windows XP の OS 媒体に格納されています。または、マイクロソフト社のホームページ(<http://www.microsoft.com/japan/>) にアクセスし、"Remote Desktop Connection Software" のキーワードで検索して入手してください。

なお、"C:\¥ProgramFiles¥Remote Desktop"以外にリモートデスクトップをインストールした場合は、初期設定ツールを起動した際にWINNT フォルダに作成される"iStorageNSSetup130.ini"というファイルを開き、"RdesktopPath"に記述されたファイルパスを正しいリモートデスクトップのインストールフォルダに変更してください。

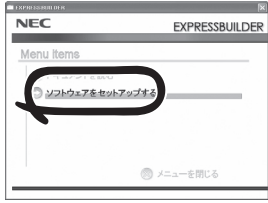
① 参照 詳細については、初期設定ツールのヘルプを参照してください。初期設定ツールを起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。

「EXPRESSBUILDER」CD-ROMの
¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm

① ステップ4で本体の電源をONしたら、管理PCの光ディスクドライブに「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットします。

オートラン機能によりメニューが自動的に表示されます。表示されない場合は、一度光ディスクドライブから「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをイジェクトし、再度セットしてください。

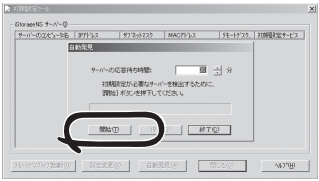
② [ソフトウェアをセットアップする]をクリックして、表示されたメニューから[初期設定ツール]をクリックします。



③ 初回のみ[ご確認]の画面が表示されます。装置添付の使用許諾契約書をご一読の上、[OK]をクリックします。

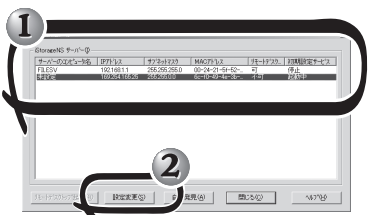


④ 初期設定が必要なサーバーを検出するために、[開始]をクリックします。

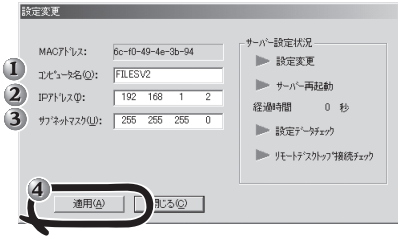


対象となるサーバーが、初期設定ツール画面内の[サーバーのコンピュータ名]欄に"未設定"と表示されます。"未設定"のサーバーが検出されましたら、[停止]をクリックして自動発見を停止後、[終了]をクリックして自動発見を終了させます。なお、対象となるサーバーのOSが起動するまでには、構成によって、20～30分かかる場合があります。30分経っても検出できない場合は、再度[開始]をクリックしてください。

⑤ "未設定"のサーバーのリモートデスクトップ起動の表示が「確認中」から「可」に変わった場合は、リモートデスクトップによる接続が可能なので、"未設定"のサーバーを選択し、[リモートデスクトップの起動]をクリックして「ステップ6 管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する」に進みます。「不可」に変わった場合は、"未設定"のサーバーを選択し、[設定変更]をクリックします。



⑥ コンピュータ名、IPアドレス、サブネットマスクを入力して [適用] をクリックします。



⑦ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックします。

サーバー設定の変更が始まり、サーバー設定状況の内容が順次更新されます。

⑧ 完了メッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。



以上で、本装置の初期設定が完了し、リモートデスクトップ接続で管理できる状態になりました。

ステップ6

管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する

本装置と同じネットワークアドレスにある管理PCを使用して必要事項を設定します。

設定方法の詳細が必要な場合は、管理者ガイドを参照してください。

① 管理PC上でリモートデスクトップを起動します。

② 接続先に本装置のコンピュータ名をまたはIPアドレスを入力します。

③ ユーザー名に「administrator」を入力し、次にパスワードを入力して[OK]をクリックします。



出荷時のパスワードについては、本装置に添付のスタートアップガイドに記載されています。

④ [スタート]-[Windows セキュリティ]をクリックします。

⑤ [パスワードの変更]をクリックして、パスワードの変更を行います。

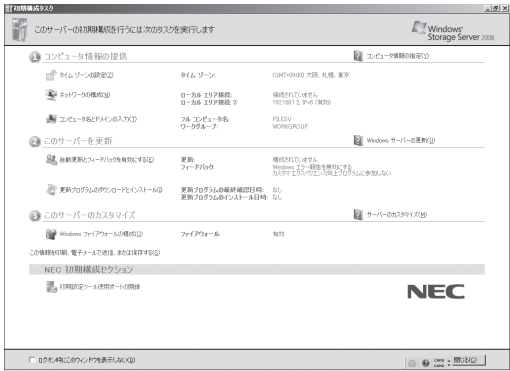


● 本装置のセキュリティを保つために、**出荷時のadministratorのパスワードを必ず変更してください。**

● パスワードの文字数は**6文字以上**である必要があります。また、パスワードには、**英大文字、英小文字、数字、アルファベット以外の文字の4つの種類のうち3つの種類が使用されていなければなりません。**

● パスワードの有効期限は**初期設定では42日**になっておりますので、**お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。**

⑥ 初期構成タスク画面が表示されますので、必要事項を設定します。



* 初期設定ツールで使用したポートを閉鎖
初期設定ツールで使用したポートを閉鎖してください。

* タイムゾーンの設定
日時が自動更新の環境でない場合は設定してください。

* コンピュータ名とドメインの入力
初期設定ツールでコンピュータ名を変更していない場合、ドメインに参加する場合は設定してください。

ステップ7

ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもディスクアレイを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクなどの状態監視やサーバに異常や障害が発生したときに自動的に本装置の電源をOFFにしたリ、本装置監視用コンピュータやページャへの通報などを行うユーティリティです。



設定方法については、ユーザーズガイドを参照してください。

ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC(ESMPRO/ServerManager)のディスプレイから確認することができます。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。

「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアをセットアップする]ー[ESMPRO]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

iStorage NS連携モジュール

ESMPRO/ServerManager (Ver.5未満) がインストールされている環境にiStorage NS連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManager (Ver.5未満) より、リモートデスクトップ接続が起動できます。「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアをセットアップする]ー[iStorage NS連携モジュール]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

以上でセットアップは完了です。引き続き、管理者ガイドを参照して必要な設定を行ってください。

お読みください

OS再インストールの前に

OSの再インストールを行う際に、ディスクアレイ構成を変更したり、ベーシックディスクへ戻したりすると、ハードディスクドライブ上のデータはすべて削除されます。また、誤った手順を実行すると、ハードディスクドライブ上のデータがすべて削除される危険性がありますので、再インストール作業の前に、必ず必要なデータを外付けバックアップ装置などにバックアップしてください。

RAIDシステムの構成を変更した場合

RAIDシステムの構成を変更した場合、ユーザーズガイドを参照して、RAIDシステムのコンフィグレーション情報をバックアップしてください。

電源制御機能の使用について

本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれています。スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

本装置のシャットダウン操作について

本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンは、管理PCからリモートデスクトップ接続し、シャットダウン操作を行ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジュールシャットダウンを利用することもできます。

本装置のドキュメントについて

管理者ガイドおよびユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」CD-ROMに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。

【NEC iStorage NSシリーズサポート情報】

<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>

【補足】

上記 URL にて "型番・モデル名から探す" を選択し、テキストボックスにモデル名を入力して検索してください。

iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、基本となるサポート情報を以下のサイトに公開していますので、定期的にご参照頂くか、RSSの配信登録を行い、製品をメンテナンスされることをお勧めします。

<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>

また、有償の保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しております。本サービスをご契約いただくと、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWebサーバへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのリビジョンアップ情報の提供などもご契約者様だけのサービスとなります。

「PP・サポートサービス」の詳しい内容については、以下をご覧ください。

【PP・サポートサービス】ご案内のページ

<http://www.nec.co.jp/service/support/pp/index.html>

お客様登録をする

保証書に記載されている保証を受けるためには、ユーザ登録が必要です。

インターネット(ClubExpressサイト)よりユーザ登録を行ってください。

<http://club.express.nec.co.jp>

商標について

ESMPRO、DianaScopeは日本電気株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2010
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
このマニュアルは再生紙を使用しています。